



横山幸雄 & 務川慧悟

デュオリサイタル 師弟が紡ぐ、唯一無二の音の世界

Yukio Yokoyama & Keigo Mukawa Duo Recital

©アールアンフィニ

©Yuji Ueno

第12回ショパン国際ピアノコンクールにおいて、歴代の日本人として最年少入賞を果たしたピアニスト横山幸雄と
2つの歴史ある国際コンクール上位入賞で、国際的な注目を集めた俊英 務川慧悟が奏でる
2台のピアノによるコンサート

2026 **3.1** 日 15:00 開演
14:00 開場 石橋文化ホール

全席指定 一般 **4,000** 円 (当日500円増)

※「みゅ〜ず」友の会会員は、10%割引にて販売(一人2枚まで購入可)。電話予約可。
※前売りで完売した場合は、当日券の販売はございません。
※未就学児入場不可。(託児サービスはございません。)

チケット
発売日

■みゅ〜ず会員先行発売 2025年 11月29日(土)
■一般発売 2025年 12月 6日(土)

■プレイガイド■

石橋文化センター/TEL 0942-33-2271
石橋文化センター情報サテライト(久留米シティプラザ2階)/TEL 0942-36-3080
チケットぴあ/<https://t.pia.jp> Pコード(313-483)
ローソンチケット/<https://l-tike.com> Lコード(82008)
木下楽器店/TEL 0942-38-1111

Program

ショパン：バラード第1番 ト短調 Op.23 (横山ソロ)
ラヴェル：「鏡」より 悲しい鳥、道化師の朝の歌 (務川ソロ)
ラヴェル：ラ・ヴァルス (2台)
横山幸雄：カルメン幻想曲～(連弾)
ラフマニノフ：2台のピアノのための組曲 第2番 Op. 17より
第3曲 ロマンズ (2台)
第4曲 タランテラ (2台) ほか

※曲目は予定です。予告なく変更する場合がございます。

■お問い合わせ：石橋文化センター 0942-33-2271 月曜休館(ただし、祝日は開館)



横山幸雄 & 務川慧悟

デュオリサイタル ～師弟が紡ぐ、唯一無二の音の世界～

Yukio Yokoyama & Keigo Mukawa duo Recital



Profile



横山 幸雄 (ピアノ) Yukio Yokoyama

第12回ショパン国際ピアノコンクールにおいて、歴代の日本人として最年少入賞を果たし、本格的な演奏活動を開始。以来、数々の賞を受賞しクラシック界のトップアーティストとして常に注目を集めている。2010年、ショパン生誕200年を記念して行われた14時間に及ぶショパンピアノ独奏曲全曲演奏会「入魂のショパン」はギネス世界記録に認定され、翌年には遺作を含む全独奏曲演奏会で自らのギネス記録を更新。2019年の第10回記念公演では、ショパンが生涯で作曲した240曲の全作品(独奏曲、協奏曲、声楽曲、室内楽曲)を3日間で演奏する前人未踏のプロジェクトを大成功させ、その記録をDVDとしてリリースした。また、2013年よりスタートしたシリーズ「ベートーヴェン・プラス」や「4大ピアノ協奏曲」演奏会に加え、ベートーヴェン生誕250周年にあたる2020年には「ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ全32曲連続演奏会」を2日間で成し遂げ、DVDとして発表。2015年パリでのラヴェル全ピアノ独奏曲演奏会、2018年ポーランド・リサイタル・ツアー、2019年ルイージ指揮デンマーク国立交響楽団公演など、海外でも活躍。リリースCDは文化庁芸術祭レコード部門優秀賞や国際F.リスト賞レコードグランプリ最優秀賞などを受賞。2021年デビュー30周年記念CD「横山幸雄 ショパン ピアノ協奏曲第1番&第2番 他」、2025年10月にはラヴェル生誕150年記念CD「ラヴェル ピアノ・ソロ作品全集」をリリース。以降、自作曲出版や協奏曲の弾き振りも含めた指揮者としての活動も成功を収め、音楽家としての活動領域をさらに広げている。

故中村紘子女史の遺志を引き継ぎ、日本パデレフスキ協会会長を務める。

公式サイト: <https://yokoyamayukio-official.bitfan.id/>

務川 慧悟 (ピアノ) Keigo Mukawa

2021年エリザベート王妃国際音楽コンクールにて第3位入賞。2019年ロン＝ティボー＝クレスパン国際コンクールにて第2位入賞。現在、日本とフランスを拠点に演奏活動を行っており、バロックから現代音楽までとレパートリーは幅広く、各時代、作曲家の様式美が追究された演奏、多彩な音色には定評がある。また、現代のピアノのみならず、古楽器であるフォルテピアノでの奏法の研究にも取り組み、造詣を深めている。これまでにフランス、ベルギー、スイス、ラトビア、ドイツ、イタリア、ポーランド、オランダ、南アフリカ、中国、台湾、韓国など各国で演奏会を開催、プラハ・フィルハーモニア管弦楽団、フランス国立管弦楽団、ロレーヌ国立管弦楽団、ベルギー国立管弦楽団、ブリュッセル・フィルハーモニー管弦楽団の他、国内でも主要オーケストラと共演を重ねている。2025年7月には、ラヴェル生誕150年を記念しピアノ作品全曲演奏会を開催。精緻な表現と詩的な響きによる圧巻の演奏で、各地の聴衆を魅了し絶賛を博したことは、記憶に新しい。CD「ラヴェル:ピアノ作品全集」(NOVA Record)をリリース。同盤はEtcetera Records より再リリースされ、フランスの「Le Monde」紙をはじめとする各メディアで取り上げられた他、フランスの音楽批評サイト「Res Musica」が選出する《Clef d'Or Res Musica 2024》を受賞。フランス人以外のピアニストとしての受賞は極めて異例であり、現地の高い評価を裏付けるものとなった。近年は文筆にも活動の幅を広げ、『小説すばる』で連載中のエッセイ「ピアノとワインと、ときどきパリ」が好評を博している。

令和2年度愛知県芸術文化選奨文化新人賞、第33回日本製鉄音楽賞フレッシュアーティスト賞、第33回出光音楽賞受賞。

公式サイト <https://keigomukawa.com/>



石橋文化センター情報

久留米市美術館開館10周年記念展

美の新地平ー石橋財団アーティゾン美術館のいま
2026.2.14(土)～5.24(日)

※本公演チケットで、久留米市美術館展覧会「美の新地平ー石橋財団アーティゾン美術館のいま」をご覧ください。

園内の
見ごろ



つばき 3月中旬～下旬、さくら 3月下旬～4月上旬
花の見ごろに合わせてイベントを催します。
詳しくは、ホームページをご覧ください。

